

防災、福祉のまちづくりを重点に

市長に来年度予算要望書を提出

日本共産党



日本共産党市議団(私は左から3番目)と岡田県議は、遠峰副市長(中央)に
来年度の予算要望書を提出しました。(市役所内：市長控室)

268項目 市民要望

日本共産党市議団は11月11日、大久保市長あてに来年度の予算要望書を提出しました。市議団5人と岡田幸子県議で遠峰副市長に要望書を手渡し懇談しました。

党市議団が行った市政アンケートに600通を超える回答をいただきました。寄せられた要望や市民の声をもとに268項目の予算要望書を作成。東日本

大震災、福島原発事故をふまえて、防災と福祉のまちづくりに力を注ぎ、市民の安全安心にこたえた予算編成になるよう求めました。市議団と岡田県議は遠峰副市長との懇談で、放射能汚染のきめ細かな測定と除染、国保税や介護保険料の負担

軽減 幼稚園の廃止計画を中止し、子育て支援の充実 大型開発を見直し、生活密着型公共事業への転換 船橋市が実施したような住宅リフォーム助成金の創設などの実施を強調しました。

要望を検討し、放射能の回答を約束

副市長は、市議団の質問に丁寧に答え、放射能除染では12月議会に軽減対策費を計上する、簡易式測定器を20台購入し自治会を通じて市民に貸出すことなどを明らかにしました。市議団の要望について、副市長は「財政は厳しいが検討し、文書で回答する」と約束しました。



放射能で孫の健康が心配です

震災関係補正予算のポイント

(市長提案、12月市議会で可決)

放射線量低減対策収集運搬等委託料	20,521千円
放射線量低減対策作業委託料 (小学校・中学校費)	2,000万円
被災者用民間賃貸住宅賃借料	6,908千円
被災分譲マンション支援事業補助金	2,000万円
市排水路及び本庁管内公園施設修繕料	800万円
消防団員等公務災害補償等共済基金掛金	912万円
北方小学校渡り廊下新築工事費	4,300万円

市は放射線量基準を0.23μSv/時未満に変更。そして部分除染も行い、総務部に「放射能対策担当室」の設置、測定器も貸出す。住民の運動と共産党も議会で要求してきたことが実現しています。



厚労省と交渉(右2人が私) 衆議院会館

11月14日、日本共産党千葉県委員会は国政に関する来年度要望を各省庁に提出し、党地方議員とともに省庁毎に別れて交渉。私たち党市議団も参加しました。私は厚労省との交渉に臨み、自治体の非正規雇用問題や公契約条例で発言し、対策を要求。公契約では厚労省も検討していると回答しました。

県委員会国政に関する 要望を提出し交渉

今年一般質問で取り上げたテーマ

11年2月市議会
 大町動植物園の施設連携、利用者増の対策について
 市川大野駅を中心とした緑地の整備、遊歩道のその後について
 塵芥収集等の契約方法について
 ゴミ分別の徹底、出し方について
 指定管理者制度について
 3月11日の私の質問中、地震発生し中断

11年6月市議会
 危機管理、被災者への対応について
 事業仕分けについて
 駅前の放置自転車対策のあり方
 入札改善による労働者保護の考え方
 旧北高校跡地の利用について

11年9月市議会
 原発に対する市長認識について
 市長の自ら痛みを伴う改革について
 住宅防災リフォーム助成制度の状況
 火災警報器の設置状況、今後の対策
 子ども議会開催の考えについて

11年12月市議会
 介護保険の次期計画の考えについて
 清掃入札の問題点について
 公契約条例の考えについて
 土砂災害防止法による区域指定
 北東部地域の水と緑の回廊計画
 (議員は1人1時間の質問ができます)

市川市敬老祝金

年齢(現行)	支給(1人)	対象人数
77歳	1万円	3,140人
88歳	2万円	964人
99歳	3万円	73人
100歳以上	5万円	115人
合計	5,862万円	4,292人

2010年度敬老祝金の支給実績(市の資料から作成)

高齢者の楽しみ

敬老祝金77歳廃止

自民・民主・保守会派の賛成多数で可決

市長は、12月市議会で77歳に支給してきた敬老祝金を廃止(その他は現行通り)する条例を提出。それに対し公明、共産、市民・市民ネット、みんなの党、ポランティア5会派による修正案を議会に提出しました。



1万円にすると。祝金全体では削減額は削減額

修正案を提出、僅差で否決

修正案は77歳を5千円、その他(88歳・99歳・100歳以上)は一律

1967年から続けられてきた市川市の敬老祝金事業。97年から現在の制度にしたもの

理由は「平均寿命が延びて77歳は長寿とは言いえない」としました。日本共産党は、節目に祝金を届けることは喜ばれ励ます制度であること、また、当事者である77歳の方の意見も聞かないこと、削減する財源の使い道も決まっていないうことなどを指摘。多くの人が喜ばれる修正案に妥当性があると主張し、市長条例案に反対しました。

です。廃止の



市役所本庁舎(12月4日撮影)

市川市は市役所が分散化し役所も狭いことや耐震性が低いことを理由に、建て替えを視野に入れ、新たな整備手法を検討してきました。

9月市議会で、7つの庁舎整備方策プランが示され、工費は約180億円、220億円程度。12月市議会一般質問で、来年度は新庁舎建設基本構想を策定し、基金の積み立て(工事費の30%を目安に約60億円)を開始する。13年度は庁舎建て替えの基本設計、実施設計を作成するとしました。

市役所建て替えを検討

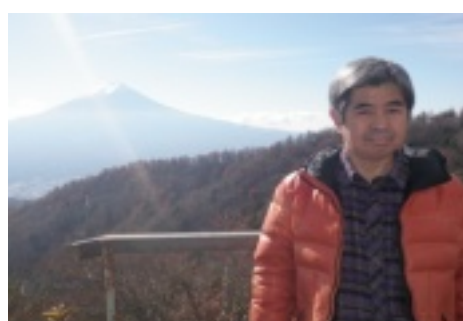
新庁舎の考え方として、市民サービスの向上、防災拠点、環境に配慮し、ローコストとなるよう、専門家や市民意見を踏まえて検討していくと述べました。

みなさんのご意見をお寄せ下さい。

【庁舎整備の経過】

- 1997年3月 第1庁舎耐震診断(is値0.33)
- 1998年11月 第2庁舎耐震診断(is値0.34)
- 2009年1月 第3庁舎耐震補強工事完了
- 2011年5月 庁舎整備方策業務委託を契約

編集後記



「市川山の会」後援会のみなさんと三ツ峠を登山。快晴で富士山(写真後方)がきれいに見え、励まされました(11月12日)

今年も残すところわずかとなりました。みなさんの三大ニュースは何ですか?私の三大ニュースは、3月11日、東日本大震災。市議会で私の一般質問中に12分の質問時間を残して議会が中断。歴史に残る記憶となりました。43歳で市議員になって、連続5期目の当選をさせて頂きました。支持者に感謝・感謝です。8月14日で60歳を迎えました。これまで風邪ひとつしないので元気にすごせたことが自慢です。